令和６年１月 30 日

関　係　各　位

北海道大学
大学院メディア・コミュニケーション研究院長
奥　　聡
（公印省略）

教員の公募について

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたび、当研究院では、下記の要領により教員を公募することになりました。つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、関係の方々への周知ならびに適任者の推薦についてよろしくお願い申し上げます。

記

1.　職名および人員：大学院メディア・コミュニケーション研究院　講師　１名

2.　職務および担当科目など：
⑴　大学院メディア・コミュニケーション研究院の▽公共ジャーナリズム論分野、▽メディア文化論分野、▽多元文化教育論分野のいずれか、あるいは上記の分野がまたがる領域に関連した研究を行う。
⑵　公共ジャーナリズム論分野とメディア文化論分野は大学院国際広報メディア・観光学院で、多元文化教育論分野は大学院教育学院でそれぞれ、専門領域等の教育・研究指導を行う。
⑶　全学教育科目の中国語の授業、およびそれ以外の全学教育科目の講義等を行う。
⑷　その他、組織運営に関する業務を行う。

3.　着任予定時期：令和６年 10 月１日

4.　試用期間：採用の日から３ヶ月

5.　勤務形態:専門業務型裁量労働制を適用　※1日に7時間45分労働したものとみなす。

6.　任期：任期の定めはない

7.　給与：国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による

8.　健康保険等：文部科学省共済組合・厚生年金・雇用保険・労災保険

9.　募集者の名称：国立大学法人北海道大学

10.　受動喫煙防止措置の状況：特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

11.　応募資格：以下の要件に該当する方
（1）博士学位取得者（取得見込みの方を含む）またはそれと同等の能力を有すること。
（2）大学院メディア・コミュニケーション研究院の▽公共ジャーナリズム論分野、▽メディア文化論分野、▽多元文化教育論分野のいずれか、あるいは上記の分野がまたがる領域において、今後の発展の可能性が認められる高い水準の業績を有するとと

もに、学際的研究にも積極的に参加する意欲を持つこと。(専門領域としては、例えば、ジャーナリズム、マスメディア、ソーシャルメディア、オンラインコミュニティ、視覚文化、ジェンダー、マイノリティなどに関する研究が考えられますが、そのほかの多様な専門領域からの応募を歓迎します)

(3) 本学における中国語の語学教育を行う能力と知識を有すること。同時に ICT の活用など、外国語教育に積極的に取り組む意欲を持つこと。

(4) 日本語母語話者でない方は、日本語で担当科目の講義が可能で、日本語での日常な組織運営に関わる業務遂行能力を有すること。

(5) 本研究院の国際化に前向きに取り組むことができる能力、意欲を持っていること。

(6) 職務内容が多岐にわたるため、誠実で協調性に富み、多様な職務・課題に取り組む積極性を持っていること。

12. 提出書類：日本語で作成すること。

(1) 履歴書（写真添付、生年月日、自宅〔および可能であれば勤務先等〕の住所、電話番号、E-Mail アドレスを明記）

(2) 研究業績リスト（著書、学術論文等、科研費等の競争的資金獲得状況、国際研究集会参加状況など)。査読付きのものとそれ以外のものを分けて記し、通し番号を付けること。

(3) 主要な研究業績（論文別刷等もしくは著書を最低 2 点、最大 3 点まで）

a) それぞれの要旨を 1,000 字程度の日本語でまとめたものを必ず添付すること。

b) 主要研究業績とは別に博士学位論文（審査中のものを含む）がある方は提出すること。要旨を 1,000 字程度の日本語でまとめたものを必ず添付すること。

c) 審査過程において、研究業績の電子ファイルの提出を求めることがあります。

(4) 学位証書のコピー

(5) 以下の 3 点について、全部で 2,000 字程度の日本語でまとめたもの

a) これまでの研究概要

b) 今後の研究計画

c) 研究上の倫理に関する自分の考えについて

(6) これまでの教育経験と北大での教育（大学院および全学教育での語学教育）に対する抱負（1,000 字程度の日本語）

(7) 推薦者（2 名）の名前・所属・職名・E-Mail アドレス・電話番号

（審査過程において、推薦者(2 名)からの推薦状の提出を求めることがあります。）

＊公共ジャーナリズム論分野、メディア文化論分野、多元文化教育論分野の 3 分野のうち、所属を希望する分野がある場合には履歴書の末尾にご記入ください。

＊お送りいただいた書類は原則としてお返しいたしません。応募書類は教員選考の目的以外には使用いたしません。

＊返却を希望される方は、返信用封筒に住所・氏名を明記し、送料分の切手をあらかじめ貼ったものを同封してください。

＊応募者選考の際に札幌で面接および模擬授業等を実施する予定です。その際の旅費等は自己負担となりますのであらかじめご了承ください。状況によってオンラインでの実施とする可能性もあります。

＊最終候補者となられた場合、原則としてすべての研究業績（論文等）のチェックを行います。可能な限りすべての研究業績の電子ファイル（word が望ましい）を、事前にお手元にご準備ください。

13. 応募書類提出方法：下記(1)または(2)のいずれかの方法でご提出ください。

(1) 郵送：封筒に「研究院講師応募書類」と朱書し、EMS、簡易書留またはレターパックプラスで書類郵送先宛てに送付して下さい。

（2） JREC-IN：JREC-IN Portal サイトの「JREC-IN Portal Web 応募」からご提出ください。Web 応募方法については URL のマニュアル（p.27～）をご確認ください。
https://jrecin.jst.go.jp/html/app/seek/manuals/jrec-in-portal_user_manual_ja.pdf

- 提出書類(1)～(7)をそれぞれ PDF ファイルとし一つの Zip ファイルに統合してください。
- ファイル名は「Firstname Familyname.zip」としてください。（例：Hidemi Shiroyama）

14. 応募締め切り：令和 6 年 3 月 29 日（金）（必着）

15. 書類郵送先：〒060－0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
城山　英巳宛て

16. 問い合わせ先：件名を「研究院講師公募関連」として、必ず日本語で、shiroyama@imc.hokudai.ac.jp（担当教員：城山英巳）までメールでお問い合わせください。

＊北海道大学は多様な人材による教育・研究活動の積極的な推進に努めています。また教育・研究活動と生活の両立支援も積極的に進めています。詳細については下記ホームページをご参照ください。
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部 https://www.dei.hokudai.ac.jp/

以上